

「健康で心豊かに長生きをしましょう。」(7)

平成 25 年 4 月 26 日

村山 章

動物は動くために骨や筋肉の運動器官や神経系が発展し、それと共に脳みそも進化してきたようです。一方で植物は、動くことがないため知能はありません。しかし、話しかければ生き生きとするように、心だけは存在し宇宙の波動とつながっているとと言えます。植物は、決して鉄砲を持って戦ったりしません。紛争や戦争が人類の歴史からなくなったことはありません。争いの原因は、脳が極端に進化を遂げたためでしょうか、ときとして知能がない植物の存在を羨ましく思うことさえありますね。

マイケル・サンデル氏の「これからの「正義」の話をしよう—いまを生き延びるための哲学」が、一昨年世界的に大きな話題となりました。先日は東日本大震災でテレビ出演したり、これからの正義の話をしようという本を出したり相変わらずご活躍のようです。マイケル・サンデル氏は結果として「共通善」を強調しています。かつてマイケル・サンデル氏の著書を読んで、「善」が東洋思想であったために 21 世紀はやはり東洋思想が重要になるのだと感じました。人間には、自分を悩ませる煩惱の数が 108 もあるそうです。しかし私は、こうした煩惱や欲望こそがヒトのエネルギーの源であると思います。人間社会は、煩惱や欲望をエネルギーに経済的豊かさを生んできたと言えますが、その一方で紛争や戦争も引き起こしました。

ヒトは、年を重ねるにつれ欲望やエネルギーから解放され、涅槃の境地に至り、自然そして宇宙に帰るのが理想なのです。しかし、私たちの日常生活を見つめると、自分で自分の煩惱に振り回されて人間関係やお金で悩んでしまうことが多いようです。私たちの日常生活はドンドン便利になっていますが、その一方で、心療内科が忙しくなり、悩んでいる方々が増えています。経済的豊かさと心の豊かさは一致しないようです。

そんなときは植物を見習って、ありのままに生きたいものです。他人を犠牲にしての真の幸福はあり得ません。